

【資料提供】  
令和3年4月2日(金)  
国際交流課 交流協力G 内田  
TEL:076-225-1382(内線:3976)

駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使の中西副知事表敬訪問について

- 1 日 時 令和3年4月5日(月) 10:00～
- 2 場 所 行政庁舎4階 副知事応接室
- 3 来訪者 シニシャ・ベリヤン駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使(略歴別紙)
- 4 来県目的 地方行政視察のため
- 5 来県日程 4月4日(日) 来県  
4月5日(月)  
10:00～ 副知事表敬  
4月6日(木) 離県

特命全権大使閣下 シニシヤ・ベリヤン博士  
(C. V. of H. E. Mr. SINISA BERJAN, PhD)



1979年8月18日、ボスニア・ヘルツェゴビナ州サラエボ生まれ。

- ボスニア・ヘルツェゴビナ外務省 駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ特命全権大使(2019年4月より)
- 東サラエボ大学(ボスニア・ヘルツェゴビナ)農学部にて農業の学士号(一般コース)を取得(2005年)
- 東サラエボ大学農学部(2006年)に勤務(2006年)
- 東サラエボ大学; 科学、研究開発担当副学長(2018年1月-2019年4月); 農業経済と農村開発部、農学部、部長(2014年-2019年)

- 東サラエボ大学 哲学部(研究プログラム地理学)で学士号を取得(2018年)
  - イタリアのバリ農業研究所(CIHEAM-MAIB)持続可能な農業と農村開発を専門とする上級コースにて1年間の海外研修(2007-2008年)
  - ボローニャ大学農学部(イタリア)の農業、環境、食品科学技術の修士課程(2009年)と博士課程(PhD)の学位、「国際協力と持続可能な開発政策」の博士課程カリキュラム
  - 国際環境農村開発協会(ISERD)の地域副会長 本部は東京-日本(2014年より)
  - 欧州連合(EU)の食糧安全保障プログラム委員会、持続可能な農林業、海洋、海洋、内陸水研究、バイオエコノミー「HORIZON 2020 - 研究とイノベーションのためのEU フレームワークプログラム2014-2020」メンバー
  - 東サラエボ大学を代表して、中央ヨーロッパ大学学問交換プログラム(CEPUS プログラム)CIII-SK-0405-08-1617-M-98818のコーディネーター(2015年より)
  - モノグラフ、科学論文、レビューなどの形式で150以上の書誌発行
- 公開編集委員会・科学委員会委員(国際ジャーナル「農林」、AGROFOR インターナショナルジャーナル「パーマ・アグラリアン・ジャーナル」。環境・農村開発国際ジャーナル- IJERD; 中央ヨーロッパ農業のジャーナル- JCEA) 毎年開催される国際科学農業シンポジウム「AGROSYM」のコーディネーター兼組織委員会事務局長として海外(ノルウェー、イスラエル、イタリア、ロシア、アルバニアなど)の多くの科学会議や研修(起業家精神に関するトレーニングなど)に参加
- 東サラエボ大学を代表して、レプブリカ・スルプスカ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)のエンタープライズヨーロッパネットワークのチームコーディネーター兼コーディネーターおよびチームメンバーとして、多くの国際プロジェクト(IPA、テンプス、FAO/SWG、エラスマス+)に参加
  - 東京(日本)に本社を有する国際友好交流協議会/FEC/名誉会員(2019年7月より)
  - 東京農業大学の防衛委員会委員(2019)
  - スルプスカ共和国の農業機関の管理委員会のメンバー(2014-2019), (バニャ・ルカ スルプスカ共和国のエンティティ, ボスニア・ヘルツェゴビナ)
  - スルプスカ共和国(ボスニア・ヘルツェゴビナ)の高等教育機関の認定機関の管理委員会のメンバー(2016-2019),
  - バニャ・ルカ市の革新的な中心地の管理委員会のメンバー(2018-2019)
  - スルプスカ共和国(ボスニア・ヘルツェゴビナ)の東イリザ市の地方議会と東サラエボ市の地方議会で議員(2008-2012)(2012-2016)
  - 言語:セルビア語(母国語)、英語、イタリア語、そしてロシア語を少し。
  - 趣味:ダイビング、スキー、スポーツ全般。旅行や異なる文化に会うこと。